

TAKE
FREE

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.92
2023年冬号

医療センターニュース



特集／脳神経内科インタビュー

脳の病気について考える

- 脳神経内科で行う検査例
- 早期発見についての取り組み
- 社会的な病気である認知症
- 救急医療功労での知事表彰
- 出前教室のお知らせ
- 第15回 がん市民公開講座のお知らせ

news

伊藤 伸朗 医師 インタビュー

脳の病気について考

日本人の3大死因の1つと言われている脳血管障害。また、その他にもめまいや頭痛、手足のしびれなど日常生活で感じる症状なども対応しているのが脳神経内科です。アルツハイマーの患者も増える昨今、脳神経内科ではどんな診療をしていて何に力を入れているのか、今回は診療部長 兼 脳神経内科部長の伊藤医師にお話を伺いました。



診療部長 兼 脳神経内科部長
いとう のぶお
伊藤 伸朗 医師

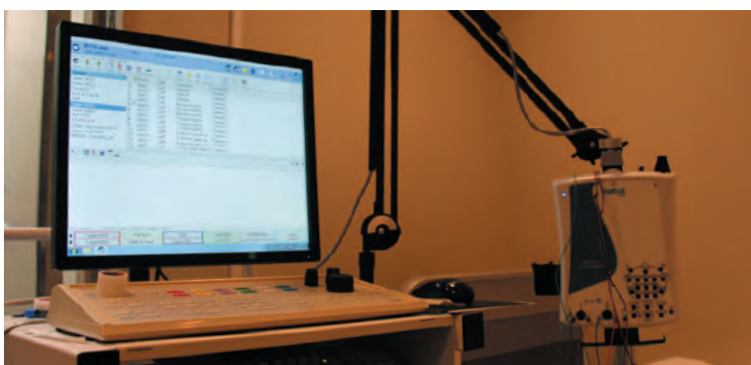


脳神経内科の診療

脳神経内科では脳血管障害・認知症・パーキンソン病・てんかん・筋疾患・末梢神経炎などの疾患を診療しています。外来では、頭痛・めまい・しびれ・歩行障害・物忘れなどの症状の患者さんが受診されます。神経疾患の診察の手順としては、疾患の原因をいくつも想定しながら患者さんから症状・経過を聴き、対面の神経診察で身体から異常を拾い上げます。

そして、原因はどこにあるのか、そこで何が起きているのかを推定し、CT・MRIや電気生理検査、血液・脳脊髄液などの検査により確認し診断します。神経は脳の先端から足先までの全身に分布していますので、適切な部位を、適切な方法で調べる必要があります。対面による昔ながらの診察方法がまず大事で、診察には少し時間をいただきます。

える



今後の目標

私は2021年秋に当院に赴任してきました。患者さんに最善の治療を提供するために、一つ一つの日常の診察を大事にしつつ、若い医師たちや病院各部署のスタッフとともに、勉強と研鑽を積んでいきたいと思えます。

脳卒中の救急診療の最適化、認知症やパーキンソン病など、進行性疾患の在宅診療も含めた地域医療機関との連携など、今後、高齢化社会により必要となる診療体制づくりにも注力していきたいと思えます。

脳組織と時間

脳神経の組織は一度壊れると回復が困難という特徴があります。そのため、早期に治療を行う必要があります。

とくに、脳の血流が途絶える脳梗塞では、脳の壊死が広がらないように緊急に治療することが望ましく、診断・治療は時間との戦いです。救急外来担当医、脳神経外科、脳神経内科が協力して、最短時間で治療を行えるよう努めています。血管が詰まって4.5時間以内であれば血栓を溶かす強力な注射薬による治療方法があり、ある程度太い血管の詰まりであれば、最長で24時間以内、しかし、なるべく早期にカテーテルで血栓を回収して再開通させる治療方法があります。

片側の手足の動きにくさや、しびれ、ろれつ不良などが急に起これば、すぐに医療機関を受診してください。

脳の病気の予防

突然起こる脳卒中(脳梗塞や脳出血)はもとより、アルツハイマー型をはじめとする認知症性疾患の予防においても、今現実的にできる有効な予防方法は生活習慣病の対策です。

脳の病気の多くは大小の脳血管の異常に関係しています。高血圧・糖尿病・高脂血症に該当する方や、恐れのある方は、40才頃から普段の生活を見直し、健康診断も積極的に受けましょう。

脳神経内科で行う検査

CT・MRI・アイトープ検査などの画像検査、電気生理検査、言語療法士による高次脳機能検査などを行っています。各部門と検討会を行い、知識や技量を高める努力をしています。

また、画像や電気生理検査については、地域の医療機関からの検査依頼も受けています。



認知症について



社会的な病気である認知症

認知症は、脳の病気である認知症性疾患（アルツハイマー型認知症、他に脳血管性認知症やレビー小体型認知症など）が原因で生じた、記憶力・理解判断力・言語能力などの機能（認知機能や高次脳機能という）の低下により、日常生活・社会生活に支障が生じた状態です。

夫婦世帯や独居が多くなり、いくら高齢になっても自分で何でも出来ることが求められる時代です。認知症性疾患の多くは本当の原因はわかっていませんが、年齢を重ねることが圧倒的に影響が大きく、長生きとトレードオフの関係といえます。平均寿命が90歳くらいになった超高齢化時代に、「認知症」が急増するのは当然です。

しかし、認知症性疾患の薬物治療の力はまだまだ微々たるもので、状況を大きく変えるような治療方法は見通しが立っていません。

明日は我が身ですので、認知症になったとしても地域で安心して暮らせる社会を、あらためて現代で創ることが求められています。

認知症の早期診断

認知症を早期診断する意義は、第一に、原因疾患の中には治療効果の高い疾患があることです。脳梗塞や頭蓋内出血、高齢発症のてんかん、アルコール多飲、ビタミン欠乏症、水頭症、頭蓋内の感染症、薬剤の副作用などの疾患が、認知症疑いで来院される方の中に稀ではなく見つかります。

第二に、多くは根本治療ができない疾患が原因ですが、家族をはじめ周囲が、早めに認知症という病気であることを知ることで、今ある症状や今後起こりうる事態に、気持ちや時間の余裕を持って対策できることです。進行を早めそうな生活環境の見直しや、介護対策を行うと症状や経過が改善することはよくありますし、薬物治療も症状を緩和させるためにうまく使っていきます。



地域における取り組み

四日市市では、高齢者が安心して暮らせる社会を目指して、認知症早期診断事業(もの忘れ検診)を実施しています(検索もしくは市役所に問い合わせてください)。75歳以上の方は「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」を使ってお使いいただき、認知症の恐れがあればお近くの一次検査実施医療機関を無料で受診できます。専門的な検査が必要と判断された場合は、当院などでの二次検査(一般的な保険診療)となります。

認知症は自覚が乏しいこともひとつの特徴です。検診という名称は、抵抗なく医療にアクセスしていただけるきっかけになると思います。急な生活の破綻や事故が起こる前に、早めに手を打っていただきたいと思っています。

地域へのメッセージ

三重大学に神経内科学教室が開設されたのは1990年で、私は2期生になります。未知の領域が多かったこの分野も30年で大きく変化しました。以前は打つ手がなく寝たきりになっていたような脳梗塞が、時間勝負の超急性期治療で劇的な改善を経験する時代になりました。

また、パーキンソン病や免疫系疾患、偏頭痛などの治療も著しく進歩しました。認知症は信じられないほど増えましたが、医療と介護の連携が確実に進歩し、社会の理解も進んできています。高齢発症のてんかんも驚くほど増えた疾患です。長年使ってきた脳が傷んできて電気回路が一時ショートするようになったもので、脳神経内科での治療がよく効きます。

神経疾患は様々な病気があり、実に様々な症状を起こしますので、おそらく当科は最も多彩な訴えを扱っている診療科だと思います。お困りの症状に当科の診療がお役に立てるかもしれませんので、かかりつけの先生に相談して、当科を受診してみてください。

News

救急医療功勞での知事表彰

令和4年11月22日(火)に三重県における医療・保健・子ども・福祉に貢献された方々の功績をたたえ、表彰を行う「感謝のつどい」が開催され、当院が「救急医療功勞」部門で知事表彰を受けました。

これからも三重県北勢地域の救急医療に貢献すべく精進してまいります。



News

出前教室のお知らせ

イオンタウン四日市泊にて当院小児外科部長 内田恵一医師による講演を予定しております。

日 時：令和5年5月14日(日) 14:00~15:00
場 所：イオンタウン四日市泊 1階イベント広場
演 題：「子どもの消化管異物：小磁石やボタン電池を飲み込むと胃腸管が破れる危険性があります!」
講 師：三重県立総合医療センター 小児外科部長 内田恵一医師
事前申し込み：不要
定 員：椅子席30席程度、立ち見可能

出入りしやすい、イベント広場をお借りしております。お子様連れの方はもちろん、ご興味のある方、お買い物帰りなど、お気軽にご参加ください。

News

第15回 三重県立総合医療センター がん市民公開講座

テ マ：肺がんとの向き合い方
開催日時：令和5年3月11日(土) 13:30~14:40
開催方法：オンラインによるZOOM開催
定 員：100名
申込方法：氏名、電話番号、医療関係者の方は職種と医療機関名をご記入のうえ、申込用専用 E-mailアドレス webinar@mie-gmc.jp宛までお申し込みください。
申込期限：3月9日(木) 15時まで
問い合わせ先：三重県立総合医療センター
 TEL:059-345-2321
 FAX:059-347-3500
 E-mail webinar@mie-gmc.jp
 事務局 企画部 経営企画課(担当山本)

講演 13:35 ~ 13:50

がんのリハビリテーションについて

富中 真悟

(三重県立総合医療センター 作業療法士)



講演 13:50 ~ 14:05

呼吸器リハビリテーションについて

内田 智之

(三重県立総合医療センター 理学療法士)

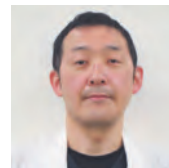


講演 14:05 ~ 14:35

肺がん患者の化学療法について

藤原 篤司

(三重県立総合医療センター 呼吸器内科医長)



休診のお知らせ

令和5年2月1日現在

耳鼻いんこう科

2月22日(水)

3月 3日(金)

三重県立総合医療センター

<https://www.mie-gmc.jp/>

検索

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和5年2月1日(水)現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	樂 家	秋 山	西 田	小 林	稲 葉
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白 木	消化器内科(再診) 白木	循環器内科(再診) 牧野
消化器内科	初診	森 谷	井 上	山中/水谷	西浦/島田	菅/中澤
	再診	井 上	森 谷	菅	山 中	西 浦
	再診	島 田	水 谷		中 嶋	腫瘍内科 齋藤
循環器内科	初診	増 田	加 藤	増 田	林	谷垣内
	再診	加 藤	中 澤	谷 垣 内	牧 野	増 田
	再診					担当医
※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、島田が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科金曜日の3診は、菅が第1週・第3週・第5週を担当し、中澤が第2週・第4週を担当します。						
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	増 田	藤 原	児 玉*
	再診	後藤(初診) 寺 島	三木(初診)	児 玉 後 藤	三 木 吉 田	増 田 藤 原
※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)						
消化器・ 一般外科		1診/横江	1診/家城(1・3・5週)/葛村(2・4週)	1診/尾 嶋	1診/毛 利	1診(午前)/担当医
		2診/尾 嶋		2診/山 本	2診/辻 浦	
		3診/毛 利		3診/横江		
小児外科			2診/内 田		内田(14:00～)	
乳腺外科		予約診/ 野呂(1・3週)/ 山下(2・4・5週)	3診/山 下		3診/山 下 予約診/ 乳腺外来(野呂)	2診/野 呂 予約診/ 乳腺外来(山下)
形成外科				石浦(午前)/相野(13:30～15:30)		
※第1週目は休診です。 ※相野が最終週以外を担当し、石浦が最終週を担当します。						
心臓血管外科/ 呼吸器外科		1診/近 藤	1診/新 保	1診/澤田(1・3・5週)/田邊(2・4週)		1診/澤 田
		2診/庄 村	2診/鈴 木			
脳神経外科		1診/黒 田	1診/後 藤	1診/寺 島	予約診/担当医	1診/梅 田
		2診/亀 井	午前 予約制/脳血管外来※(梅田)			2診/亀 井 午後 予約制/ 脊椎脊髄外来
脳神経内科		1診/伊 藤	1診/伊 藤	1診/掃部/伊藤	1診/堀江/稲葉	1診/掃 部
			2診/掃 部	2診/西 垣	2診/稲葉/堀江	2診/伊 藤
※1診が初診、2診が予約診です。 ※水曜日の1診は、掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、堀江が第1週・第3週・第5週を担当し、稲葉が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、稲葉が第1週・第3週・第5週を担当し、堀江が第2週・第4週を担当します。						
小 児 科		1診/杉 山	1診/西 森	予約/太 田	1診/太 田	1診/杉 山
		2診/山 口	2診/太 田	予約/杉 山	2診/西 森	2診/鈴 木
		3診/小 林	3診/小 林	予約/大森/山口		3診/ 林
		4診/栗 原	4診/濱 野	時間外/紹介/小林/西森/鈴木		
産 婦 人 科		1診/大 里 (初診)	1診/手嶋(1.3.5週) 玉石(2.4週)	1診/浪 崎 (初診)	1診/竹 内 (初診)	1診/河 村
		2診/浪 崎	2診/朝 倉	2診/河 村	2診(午前)/朝倉 2診(午後)/1ヶ月検診、玉石	2診/手 嶋
		3診(午前)/南 3診(午後)/母体胎児診断	3診/玉石(1.3.5週) 手嶋(2.4週)	3診/竹 内	3診/たんぼぼ (助産師) 外来	3診/朝 倉
		4診/たんぼぼ (助産師) 外来			4診/ リンパ浮腫ケア外来	4診(午前)/担当医
整 形 外 科		1診(午前)/ 北尾(紹介、膝、肩)	1診(午前)/ 北尾(膝関節外来(再診))		1診(午前)/ 服部徹也(紹介、初診、股)	1診(午前)/ 寺田(紹介、初診)
			1診(午後)/北尾(再診)		1診(午後)服部徹也(再診)	
		2診(午前)/ 柿本(紹介、膝、初診)	2診(午前)/ 服部佳生(紹介、初診)		2診/ 服部佳生(再診)	
			2診(午後)/柿本(再診)			
	3診(午前)/ 服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)/ 柿本(リハ、再診)		3診(午前)/ 寺田(リハ)	3診(午前)/ 服部佳生(リハ、再診)	
		3診(午後)/寺田(再診)				
皮 膚 科		1診/中西(真)	1診/加 古 午後/褥瘡回診	1診/加 古 午後/手術	1診/中西(丈)	1診/加 古
泌 尿 器 科		1診/神 田		1診/宮 地	1診/松 浦	1診/田 端
		予約診/松 浦		予約診/神 田		予約診/宮 地
		予約診/宮 地		予約診/田 端		予約診/松 浦
※火曜日は、第1週、第3週、第5週のみ						
眼 科		1診/佐 宗	1診/佐宗(午後休診)	1診/佐 宗	1診/佐 宗	1診/佐 宗
耳鼻いんこう科		1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村
精 神 科		1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下
放 射 線 科		1診/間 瀬	1診/野 本	1診/高 田	1診/佐 貴	1診/南 平

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321 (代表)

一 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

一 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和5年2月/発行号

〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132

TEL. (059) 345-2321 (代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>

表紙：脳神経内科 写真 [令和4年11月24日(木)撮影]

ホームページ



交通のご案内



三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>